

集中講義「島のしくみ」レポート

工学部化学生命工学化 福崎悠史郎 学籍番号：2511300380

今回の集中講義を通して「与論島を活性化させるには」というテーマについて自分なりに考えをまとめた。

私は与論島が活性化するために一番必要だと思ったのは与論島に人が増えることであると思った。それは私が今回与論島を初めて訪れて一番感じたのは島全体を通しての寂しさであったからである。現在進んでいる企業の誘致による雇用の創出もそれに対応するだけの人間がいなければ意味をなさない。また人間が増えることで島全体のモノの消費は拡大するため町も自然に活気づくだろうと思う。そこで私は与論島の人口と与論島への観光客の二つの拡大を中心に議論したいと思う。

まず直接島の人間を増やすための対策としてIターンなどの与論島への新規参入者に対して補助金などの経済面の支援を提案したい。新規参入者に島に15年以上住むことなどの条件付きで移住する際の補助金や土地を割安で売るなどして島への移住を今よりしやすくすることで人口の増加を促すことができるであろうと考えられる。また新規参入者に子供がいるとどうしても教育への不安が付きまとうと思われる。そこで与論島にある学校の教育の更なるレベルアップが必要になってくる。学校教育のレベルアップは新規参入者だけに効果を発揮するわけでないと考えている。島全体のレベルが上がることで進学に際して島を離れる生徒を減らせるであろう。また近くの離島から与論の学校で学びたいと考える生徒が出てくることで島の人口を少しではあるが増加させることができると思う。

次に私が考えているのは観光によつての活性化である。観光地については、台風が通過してからまだあまり時間がたっていなかったということもあるが、私たちが見て回った観光地はひどく荒れているように感じた。被害を受けたことで壊れてしまったものについては短時間での復旧は不可能だと思うが、折れた枝や散らかったゴミなどはボランティアを募るなどすれば短時間で片づけることができると思う。初めて与論島を訪れた人が観光地にゴミが散らかっている状況を目の当たりにすると少なからずがっかりすると思う。第三次産業が町内総生産の8割以上を占める与論島内の経済状況において観光客は言い方を変えれば大きな収入源だと思う。確実にリピーターを獲得するために、与論島を100パーセント楽しんでもらえるためには与論島は観光客を受け入れる体制がまだ不十分なのではないかと感じた。また百合が浜を訪れて思ったのはシーズンが少しずれていたこともあると思うが、パンフレットなどと比べて温度差を感じた。パンフレットなどを見ると百合が浜はかなり推されている印象を受けたが実際訪れてみるとそこまでの看板もあまり目立ったものはなく海岸自体も他の海岸とも変わっている様子が見られなかった。与論島内では体験ダイビングなど海中を楽しむ機会がたくさんあるのに対して海上を体験できる機会が少ないと感じた。伝統でもあるサワラ漁法など体験できたらもっときれいな海を楽しめるのにと感じた。

旅行と言えばお土産が付き物であると私は思っている。さんごなどの与論島独特のお土産もあったが、店内をのぞいてみるとそれより目立ったのはなぜか沖縄のお土産であった。沖縄とは土地や歴史的にもつながりがあるのでお土産の置物などが似たり寄ったりするのは仕方がないと思うがお土産を選んでいるときに「沖縄」の文字が目に入ると与論島にいるのか沖縄にいるのか分からなくなってしまい萎えてしまう。沖縄に依存するのではなく沖縄との差別化を図ることで与論島の魅力を発揮することができ、観光客を増やすきっかけになるのではないかと思う。与論島に向かうフェリーと与論島内の食事はレストランや居酒屋を利用したがメニューを見てみても与論島の郷土料理は見当たらなかった。また私自身与論と言えば何という食べ物が思い浮かばなかった。フェリーでの食事も鶏飯はあったのに、もずくそばはなかった。もずくそばはそばなのにそば粉を使わないといった珍しい点でそばアレルギーの人でも食べられたりするのだからもっと注目していいと感じた。また郷土料理でなくても与論島で取れる食材を利用した創作料理（スイーツ）なども島の小学生などからアンケートを取るなどして開発したりすれば観光の目玉や与論島を知ってもらえる良い機会になるのではと感じた。私はまた与論島を訪れて思ったのが古い建物が多いなと感じた。またその建物は錆びていたり汚れているなど外観が悪いものが目立っていた。このような建物は与論島に対して古臭い、寂しいなどイメージの低下にもつながると思うのでできれば取り壊したり修繕するなど現在の状況をできるだけ改善した方がいいかと思う。また道路の脇の空き地などは雑草が伸びきっていて観光地らしからぬ状況であった。雑草を放っておくのではなくハイビスカスなどの南国ならではの美しい花々を植えるなどして明るいイメージにしてみてもいいと思った。

他の場所にもあるように与論島にも道端にゴミや吸い殻があったりした。与論島は島全体が見て回れるほど美しいので、ある特定の場所だけでなく島全体が観光地であるという意識を持てばもっと良い島になっていくだろうと感じた。